

玉付き棒針で輪に編むナーシェレのバッグ

ライブではナーシェレを使いますが、どんな太さの糸でも OK です。

見本

使用糸 パピー ナーシェレ (ウール 100%) 50g 26m

使用量 未定

使用棒針 玉付き棒針 7mm (今回はラベルに書いてある針の号数より、細いほうがいいです)
伏せ止め用に 1 号細い棒針 1 本

出来上がりサイズ

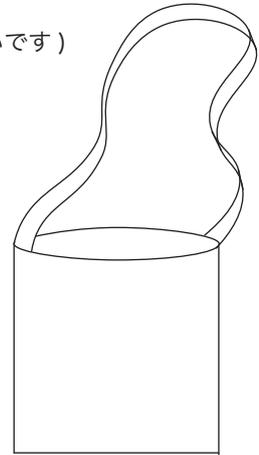
本体 23cm×30cm 程度のショルダーバッグ

作り目の目数の決め方

毛糸についているラベルのゲージを見る。

ナーシェレは 7~8 目、9~10 段が 10cm です。

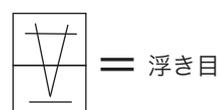
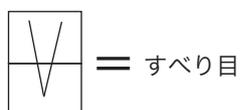
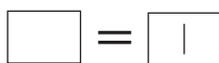
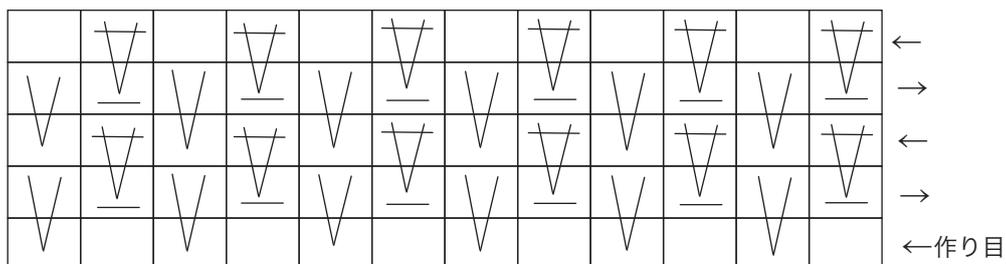
バッグの幅を 23cm くらいにしたいので、8 目 × 2.3 = 18.4 目、輪にするので
2 倍の 36 目が作り目数になる。



編み方

- 1、作り目 (1 段め) は偶数にしてください。棒針 1 本で指で作る作り目をゆるめに 36 目作る。
- 2、以下の通りに編む。
 - 2 段め [浮き目、表目] を繰り返す。
「浮き目」とは、糸を目の手前にして、左針の目に右から右針を入れ、右針に移すことです。
 - 3 段め 編み地を裏返して、[浮き目、表目] を繰り返す。
 - 4 段め以降 3 段めの編み方を繰り返し、30cm 丈で両面同じ段数になるまで編む。
伏せ止めは 1 目おきにかぎ針で作業するか、もう 1 本棒針を用意し、1 目おきに移動して伏せ止めをする。
- 3、片側の脇から 4~5cm 幅程度の目数を拾い出し、ショルダー紐をメリヤスで編む。
- 4、希望の長さ (100~110cm くらい?) に編んだらバッグの反対側にメリヤスはぎをする。
- 5、糸始末をする。
- 6、内袋をつけると使いやすいです。
ショルダー紐の裏にも幅広リボンなど縫い付けると伸びなくていいですよ!

この編み図で 3 段編めている状態になります。



すべり目と浮き目は表裏の関係です。

バッグ口、紐のバリエーション

休み目用に別糸を 3 本用意する。

本体の幅+20cm 1 本、本体の幅の半分+10cm 2 本

紐は往復編みのメリヤス編みになります。

本体の編み方 1~2 は同じ。

30cm 丈で両面同じ段数になるまで編む。

もう 1 本棒針 (号数は細くて良いです) を用意し、1 目おきに 2 本の針に目を移す。

本体の口が開いて、輪になっている状態。

3、表側を見て作業する。短い別糸を、本体の糸がつながっている目から右へ 9 目糸を通し、棒針から目を外す。

4、表側を見て作業する。もう 1 本の短い別糸を、本体の糸がつながっている目の隣の目から左へ 9 目糸を通し、棒針から目を外す。

5、長い別糸を残りの 18 目糸を通し、棒針から目を外す。そのまま休めておく。

6、短い別糸を通した目を 2 本の棒針に戻し、別糸を抜く。中心に糸がある。

7、端まで 9 目裏編みをする。針に 18 目かかっている。

8、ここから往復編みのメリヤス編み。

表側：右上 2 目一度 \searrow 、2 目手前まで表目、左上 2 目一度 \swarrow

裏側：裏目

これを幅 5cm(4~5 目) になるまで繰り返す。(お好みの幅が良いです)

9、幅 5cm になったら 15cm 丈に編み、伏せ止め、糸始末をする。

10、長い別糸で休ませておいた方の紐を 6~9 と同じように編み、紐部分が好みの長さ (100~110cm くらい?) になったら伏せ止め、糸始末をする。

11、紐を好きな位置で結ぶ。

結ばないでメリヤスハギ等でつないでも良いと思います。お好みで。

